

OROS NVGate V10.00

リリースノート

2016.4

目次

イントロダクション	4
概要	4
データセットマネージャー	5
概要	5
メリット	5
データ構造	5
データの自己分類	6
継承	6
フィルタリング	7
データの検索	7
データの共有	7
プロパティ	8
外部ファイルの追加	9
プロパティの値の入力	10
新しいプロパティの追加	10
プロパティの削除	11
メジャープロパティの更新	12
プロパティ管理	12
データの参照	13
各項目での参照	15
セットを選択して参照	16
データセットの作成	17
プロジェクト	17
設定の読み込み	19
メジャーの作成	21
データセットの移動	21
データのトレーサビリティ（追跡）	22
データセットの共有	23
データのインポート	24
エクスプローラ管理	25
フィルタの使用	26
プロジェクトのフィルタ	26
その他の改善点	28
アナライザのカスケード接続	28

トラッキング スケジュール.....	29
正確なデルタ RPM.....	29
デルタ時間の即時更新.....	29
2D/3D ウォーターフォールのソート.....	30
プロファイルでの第 2X 軸.....	30
グラフと凡例.....	31
トレース凡例の編集.....	31
全てのウィンドウのスケールを変更.....	32
その他.....	33
リボンにディスク容量を表示.....	33
結果の名前の日付形式.....	33
新しい SQ 単位.....	34
NVDrive: ビットマップのコピー リボンの最小化.....	34
キーボードショートカット.....	35
修正された問題.....	36

イントロダクション

NVGate Ver. 10 がリリースされました。このメジャーアップデートにより、NVGate で測定結果の管理やチームワーキングなどの新しい機能が使用できるようになりました。このリリースノートは Ver. 10 に関する内容や操作方法について説明します。

概要

NVGate V10.00 はすべての OR30 シリーズで使用可能ですが、ハードウェアオプションやバージョンによっては、一部利用できない機能がある場合もあります。

このバージョンアップによる変更は以下の通りです。

データセット管理

- プロパティ
- プロパティ管理
- 検索
- プロジェクトを開く
- 設定の読み込み
- モデルの保存
- メジャーの保存
- メジャーの編集
- ポスト解析
- 共有
- インポート
- フィルタ
- 保護 / ユーザ所有

カスケード

- ウォーターフォール
- タコメータ
- 1/n オクターブ
- OVA
- レコードデータのプレビュー

トラッキング スケジュール

- 正確なデルタ RPM ポイント
- デルタ時間変化の即時更新
- ウォーターフォールやプロファイルの第 2 X 軸
- 2D/3D データのソート選択

グラフィック

- トレースの凡例の編集
- すべてのウィンドウにスケールの設定を適用

その他

- 新しい SQ 単位
- ATFX 機能の改善
- 新規の NVDrive コマンド
- ディスクの空き容量をリボンに表示
- 結果の名前の日付形式

データセットマネージャー

プロジェクトマネージャーに基づいて検索と選択などのデータ管理を行えるようになりました。データセットマネージャーは、NVGate Ver10 とそれ以降のバージョンの基本機能になりますので追加のオプションなしで利用できます。

これまでのバージョンの NVGate のフォーマットと機能を包括していますが、この機能を利用することでより早く、わかりやすい操作ができるようになります。

概要

メリット

このデータセットマネージャーは、保存するデータ構造を自分で決めることができ、またデータベースが必要ありません。LAN、ハードディスク、USB などの PC 環境のどこからでもデータが交換可能になります。

NVGate のデータセット管理を要約すると、

- プロジェクトやモデルおよびメジャーを余分な説明なしに共有する
- ネットワークやローカルに存在するプロジェクトやモデルおよびメジャーにアクセスする
- 共通のプロジェクトを仲間と共有して使用する。
- フィルタリングによって、プロジェクトマネージャーやエクスプローラなどのデータ管理から簡単にデータにアクセスできる
- ...

バージョン 10 では、プロパティを利用して自動でデータを分類することができます。

データ構造

データセット管理は、3 層のレベルに基づいた一般的なデータ構造を構築します。

- コンテキスト： コンテキストは、キャンペーン、場所、顧客などの情報を保持します。プロジェクトに付随し、プロパティ以上のデータを持ちません。通常、コンテキストは(テスト、サービス、エンジニアリングの部門などの)管理者によって決められます。
- セットアップ： セットアップは、データ収集と分析の種類を保持します。モデルに存在し、プロパティに加えて全てのアナライザ設定を含みます。通常、セットアップは(自身の会社、サービスを担当する会社、OROS 社な

どの) エキスパートによって決められます。

- メジャー：メジャーは、測定/解析データと測定の詳細についての情報を保持します。これはメジャーに付随し、データ、設定(ワークブック)、プロパティを含みます。通常、メジャーは(測定を行う)オペレータによって生成されます。

データの自己分類

それぞれのデータセットはワークブック、データ、外部ファイルからは入手できないプロパティを持ちます。このプロパティはユーザ自身が入力するか、コンテキストに従って自動的に入力されます。

データは、NVGate のデータディレクトリに置かれます。また、さまざまな(画像、オーディオ、計画、機器などといった)種類のファイルをデータに関連付けることができます。

継承

データ構造は、最終的な結果であるメジャーにプロパティを反映させるためのものです。メジャーはプロジェクトとモデルからプロパティを受取ります(継承)。継承によって、メジャーは自信を正しく分類するコンテキストとセットアップを得ることができます。

継承には二重の利点があります。一つ目の利点は、入力する情報を減らすことができることです。二つ目は、プロジェクトやモデルを経由せずにメジャーを共有することができることです。

プロジェクト

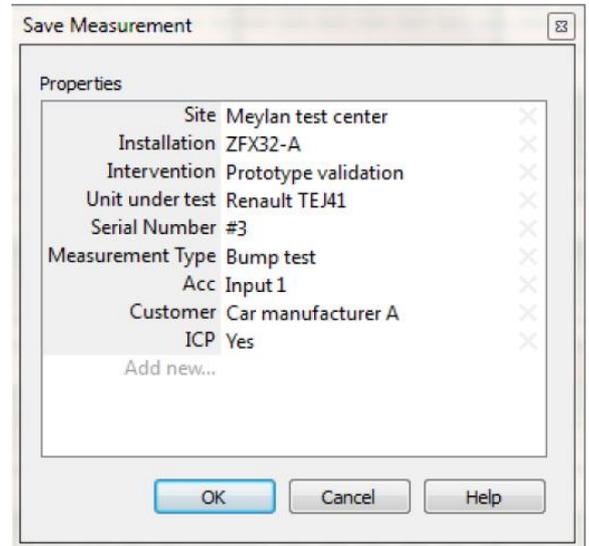
- 一般のコンテキスト
- 場所 / 設備
- データの場所
- コメント

セットアップ

- 設定
- メジャーの種類
- 作成された結果
- コメント

メジャー

- 時間、シリーズ、結果
- SN, UUT
- コメント



フィルタリング

プロジェクトやメジャーをソートするときプロパティはとても便利です。NVGate Ver. 10 は、Excel のフィルタ機能のように、使用しないデータ（プロジェクトやメジャー）を隠すことができます。

データの検索

プロパティによるデータの自己分類によって、ローカルフォルダや共有したストレージ内でプロジェクト、モデル、メジャーを簡単に検索できます。プロパティのフィルタと細かなスキャンによって、OROS のデータセットマネージャーは、効率的にデータを参照できます。

データの共有

共有/インポートの機能によって、データ（プロジェクトやモデルやメジャー）を顧客や管理者やオペレータとの間で交換や配布することが容易になります。コピー/貼り付けによる不整合は自動で処理されます。プロジェクトは自動的にメジャーをマージし、メジャーは元のモデルの情報を保持します。NVGate のデータに添付された外部ファイルも NVGate のファイルと一緒に移動します。

データの整合性はコピー/移動/削除のログとコンフリクトマネジメント風のウィンドウによって管理されます。

プロパティ

プロパティは、データ(プロジェクト、モデル、メジャー)を補足するメタデータとして使われます。これらはプロジェクトマネージャーから編集をしたり、保存をするときに表示されます。

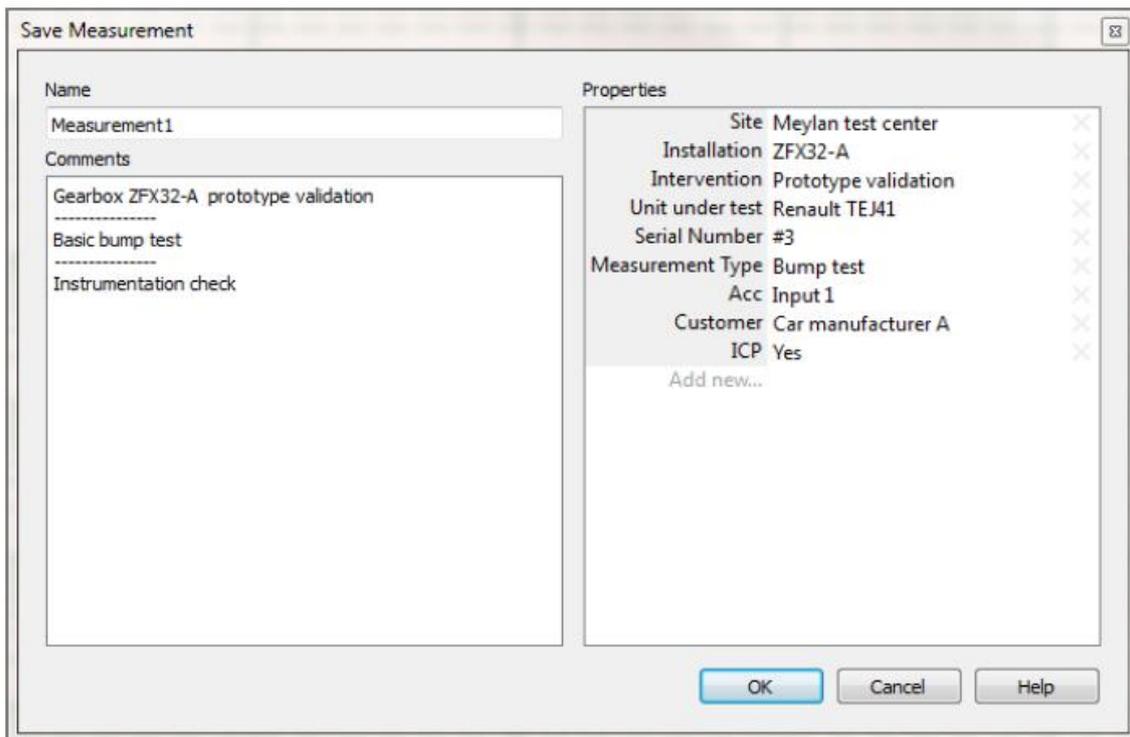
プロパティは、以下のように異なった3つのカテゴリーに属しています。

- OROS プロパティは”日付”、”作成者”、”プロジェクト”と”保存された結果の種類”のような情報を自動的に書き込みます。
- OROS ユーザプロパティは、ユーザが前もって定義します。コメント、場所、機器、測定の種類、UUT、シリアル番号などです。
- ユーザプロパティは、保存の時やプロパティを編集ことによってオペレータによって作成および入力されます。例えば、顧客の名前やセンサータイプなどです。

Properties \ Type	OROS	OROS User	User	Apply to
<i>Date</i>	X			All
<i>Author</i>	X			All
<i>Project</i>	X			Measurement
<i>Saved result type</i>	X			Model
<i>Comments</i>		X		All
<i>Site</i>		X		Project
<i>Installation</i>		X		Project
<i>Measurement type</i>		X		Model
<i>Intervention</i>		X		Measurement
<i>Unit Under Test</i>		X		Measurement
<i>Serial Number</i>		X		Measurement
<i>Ex Customer Name</i>			X	Project

表：プロパティの使用例

プロジェクト、モデル、メジャーを保存するときに、下図のようにプロパティがダイアログ内に表示されます。ダイアログはプロジェクト、モデル、メジャーで同じです。



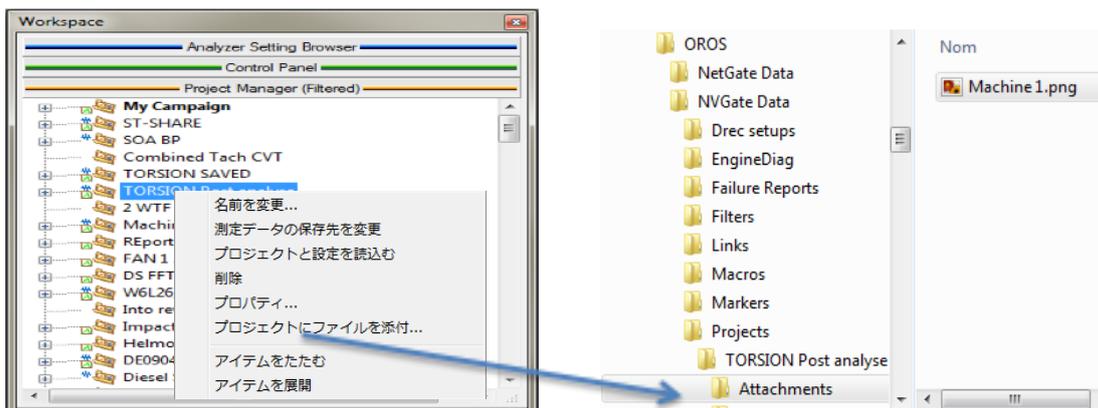
ダイアログの左側はプロジェクトやメジャーの名前とコメントです。現在開いているプロジェクトとモデルのコメントがメジャーに引き継がれます。

ダイアログの右側は OROS ユーザーとユーザーのプロパティです。プロジェクトとモデルのプロパティがメジャーに引き継がれます。

外部ファイルの追加

プロパティとコメントとに加えて、NVGate Ver10 はそれぞれのデータ（プロジェクト、メジャー、モデル）に対してフォルダを割り当てることができます。このフォルダにはボイスレコード、ワードパッド、写真、計画書などの NVGate では直接扱えないファイルを入れることができます。

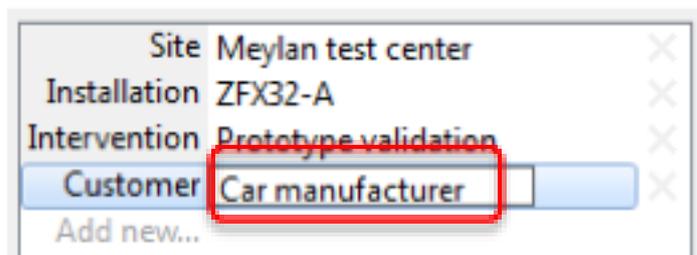
プロジェクトマネージャー内の項目を右クリックして添付…を選択してください。添付する項目を指定するためのウィンドウが開きます。



指定されたフォルダ内のファイルが共有/インポートをした時に、一緒に移動するようになります。

プロパティの値の入力

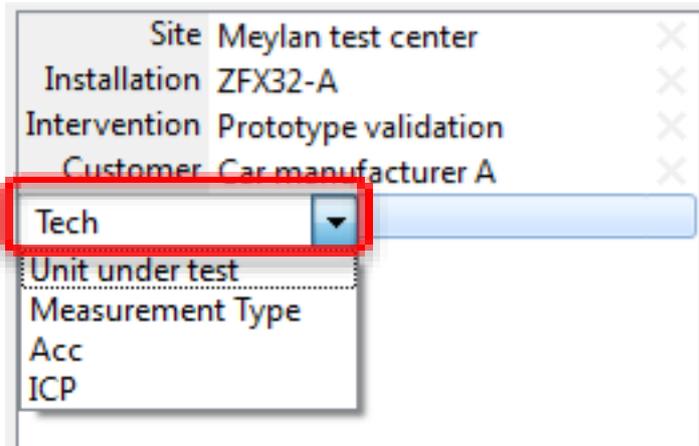
プロパティの値を入力するためには、編集もしくは追加するテキストのところのセルをクリックしてください。プロパティは入力欄の右の X で消去することができます。



新しいプロパティの追加

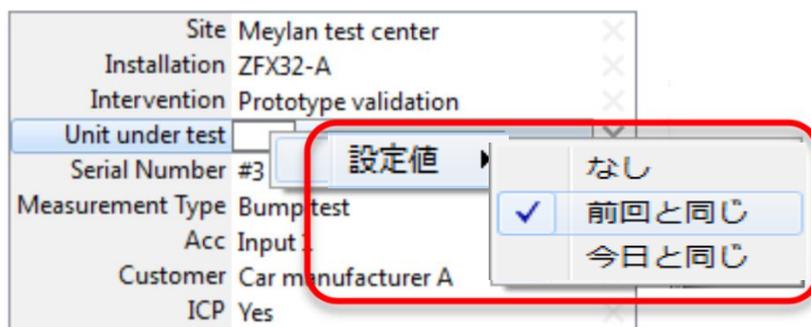
新しいプロパティを追加するためには、一番下の行の左のセルをクリックして新しいプロパティの名前を入力してください。入力したプロパティ名が既存のもの重なったときは、既存の名前が表示されます。

フィールド右側の下矢印をクリックすると、すでに存在しているプロパティのリストが表示されますので、簡単にプロパティ名の重複を避けることができます。



新しいプロパティを追加するときは十分に注意してください。今後、追加したプロパティがプロジェクトなどの作成時に自動で追加されることとなります。共有/インポートするときにも追加が発生し、他の NVGate の環境やディレクトリを変更してしまう可能性があります。

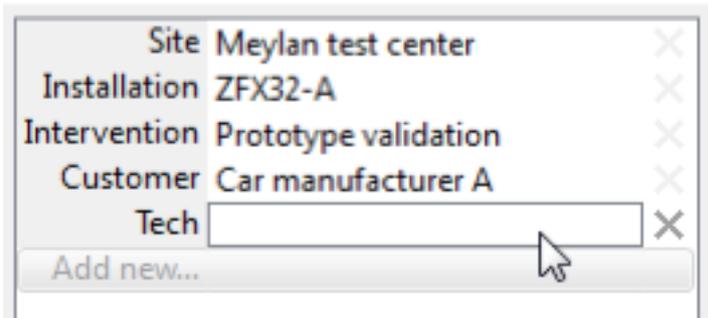
プロパティの内容を推奨してくれる機能があります。右クリックから入力される設定値を指定することもできます。推奨機能についてはプロパティ管理の項も参照してください。



プロパティの削除

プロパティを削除するためには、マウスでプロパティ欄の右側の X をクリックしてください。

現在のデータからのみプロパティが削除されることに注意してください。NVGate 内のプロパティリストは残っており、次回の保存のなどで再びプロパティが生成されます。プロパティ管理の項も参照してください。

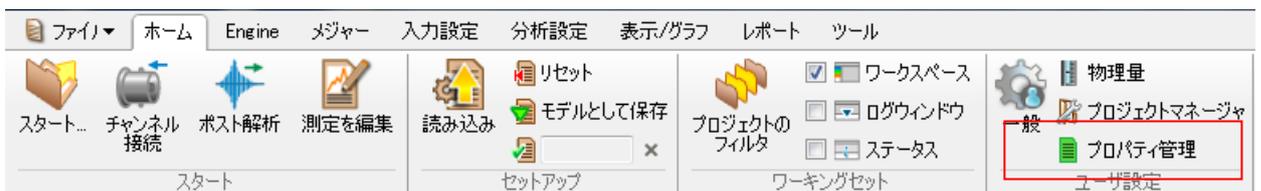


メジャープロパティの更新

プロパティの更新は、プロジェクトマネージャーで右クリックし、プロパティを選択します。

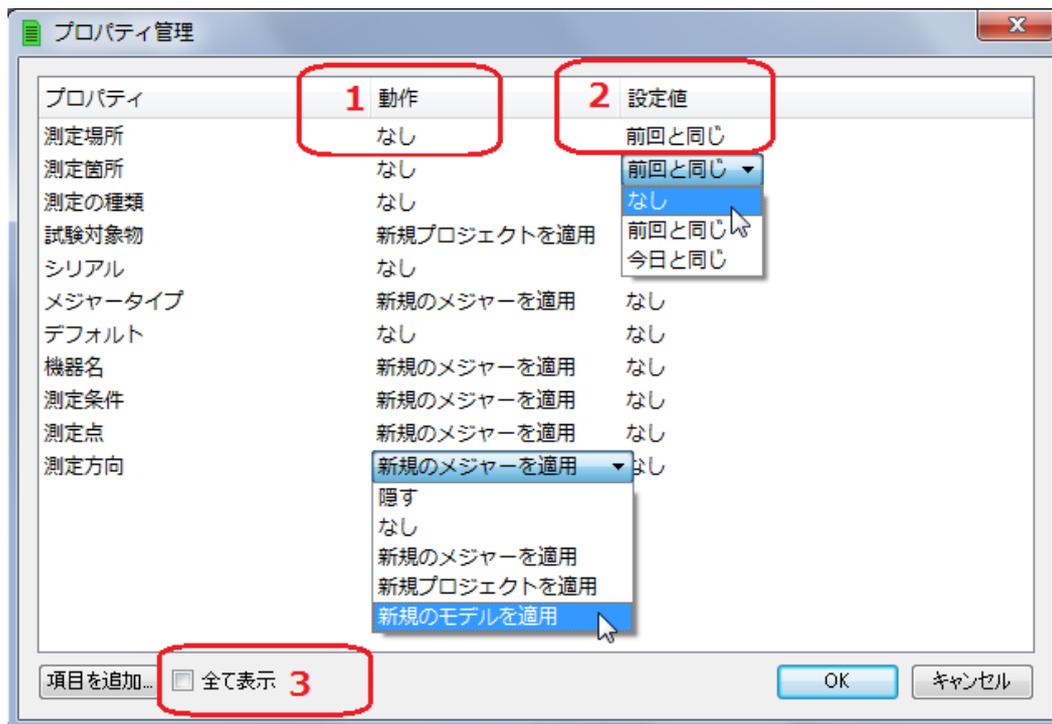
プロパティ管理

プロパティの表示/非表示、動作、関連付けなどはプロパティ管理から行います。プロパティ管理は NVGate のリボンからアクセスすることができます (ホーム > ユーザ設定 > プロパティ管理)。



プロパティの動作を修正することができます。(1)

- **新規項目を適用**：プロジェクトやメジャーなどの項目を保存しているときにプロパティが表示されます。
- **なし**：保存のときにプロパティは表示されません。プロパティ管理ダイアログには表示されます。
- **隠す**：プロパティは「なし」と同様に保存時に表示されなくなります。また、プロパティ管理ダイアログからも隠されます。すべてを表示にチェック (3) をすると隠れたプロパティを表示できます。



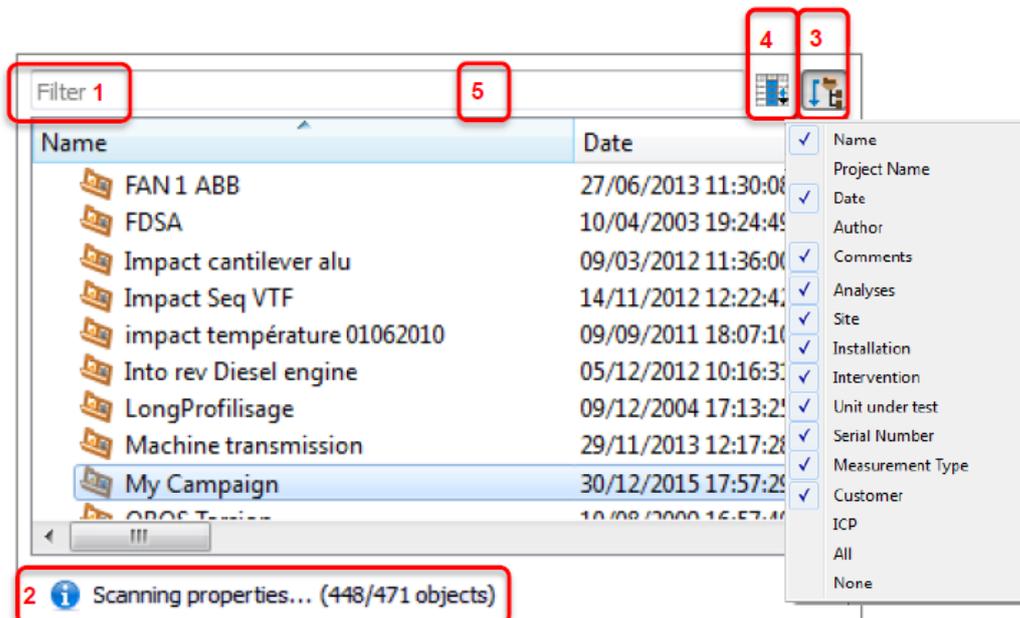
(2) の設定値カラムは、プロパティが保存されるときの値を指定します。

- なし：何も指定しません
- 前回と同じ：前回のプロパティの値を引き継ぎます。アキュイジションシーケンス内の1ユニットあたりN回の測定などに便利です。
- 今日と同じ：動作は「前回と同じ」と同様ですが、毎日24:00に「なし」にリセットされます。コンサルティングのような日ごとの測定に便利です。

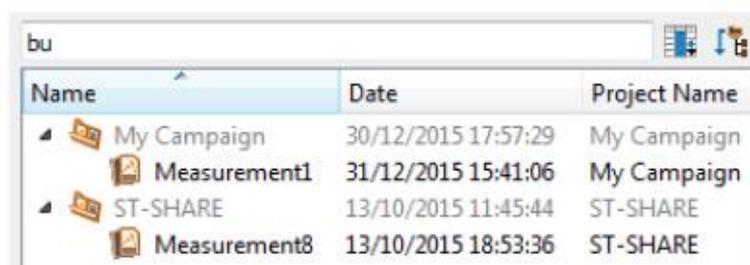
データの参照

NVGate Ver. 10にはプロジェクトマネージャー（ローカルデータ）や外部ソースからのデータを参照するための新しいダイアログが追加されました。「項目で選択」と「セットで選択」の2種類の参照方法があります。

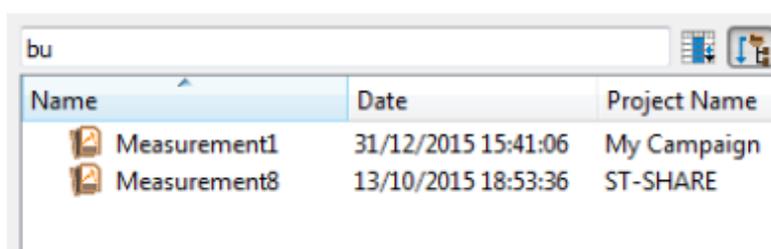
以下は、これら2つの共通の機能です。



1. フィルタは入力したキーワードと一致する項目のみ表示する機能です。キーワードを名前、プロパティの値、コメントなどから検索します。
2. ダイアログは直ちに検索を開始します。大きなデータセットが存在する場合、プロパティのスキャンに少し時間を要します。スキャンに時間がかかるときは、進行が下のエリアに表示されます。スキャンが完了するまでフィルタは不完全な状態になります。
3. フラット/ツリー：このボタンはツリー表示とフラット表示を切り替えます。



ツリー表示



フラット表示

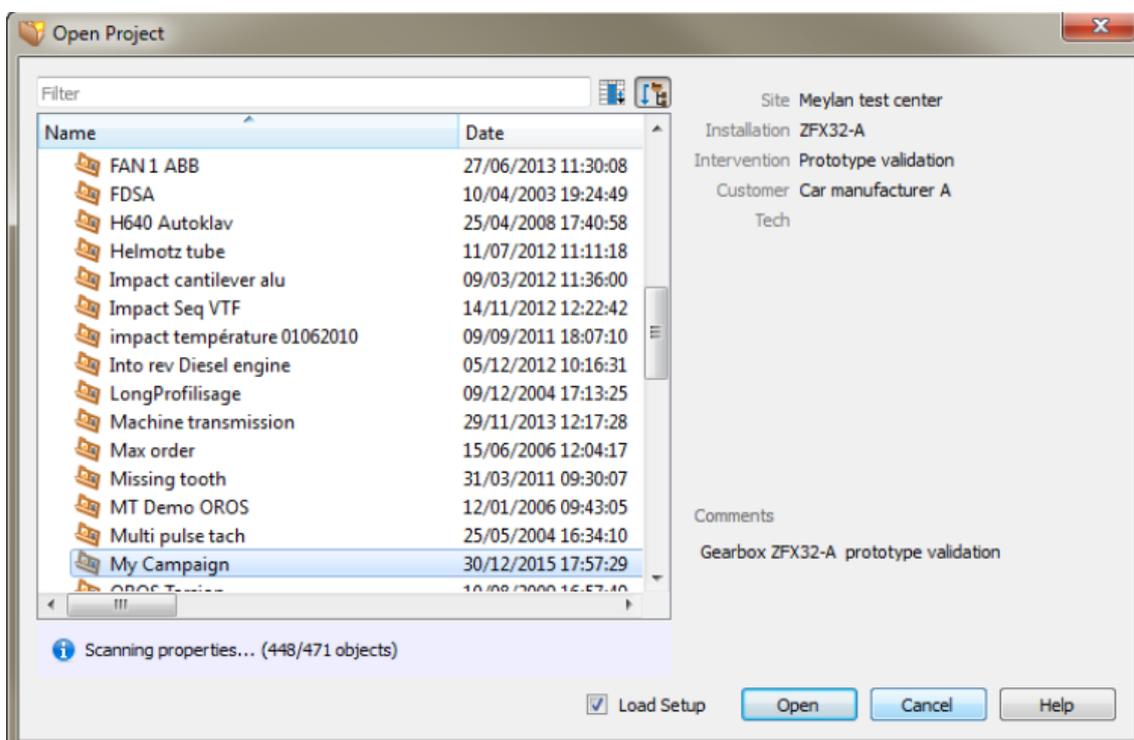
4. 検索プロパティ：検索に使用するプロパティを選択します。選択されていないプロパティは検索時に無視されます。
5. 表示/非表示プロパティ：プロパティを右クリックしてカラムの中で表示するものを選択します。

各項目での参照

以下のようなローカル上の NVGate データを開く、読み込む、編集などを行うために使用します。

- プロジェクトを開く
- ポスト解析時に信号データを読み込む
- セットアップを読み込む
- メジャーを編集する

右側に OROS ユーザーとユーザーのプロパティが表示されます。探している項目を見つけるためのリストのナビゲートです。

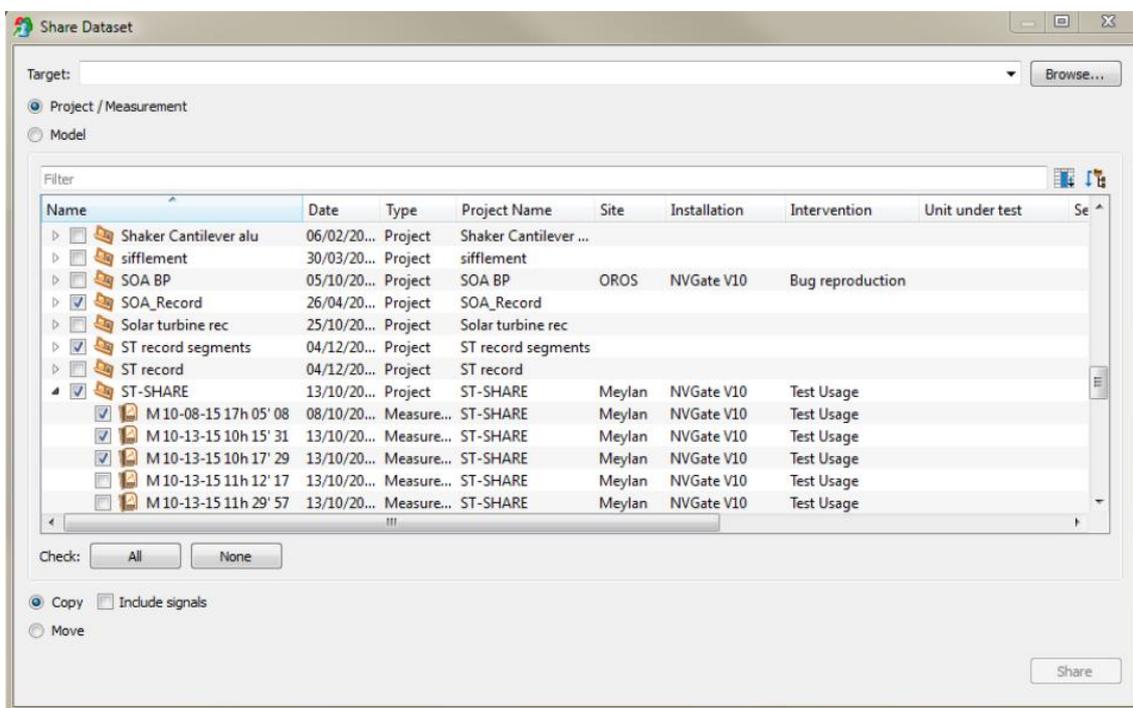


ダイアログのサイズを変更するには、右側をドラックします。プロパティの一覧は上記のようにプロパティでフィルタするために表示されます。

セットを選択して参照

このダイアログは、選択したプロジェクトやモデルなどの項目のセットにバッチ、フィルタ、転送などを適用するために利用します。

- プロジェクト/メジャー やモデルの共有
- プロジェクト/メジャーやモデルのインポート
- ローカルの NVGate データのフィルタ
- バッチレポート機能



セット選択参照は項目の選択欄の左にチェックボックスがあります。プロパティテーブルを使用することによって一連のデータセットを選択でき、効率的にフィルタをかけることができます。

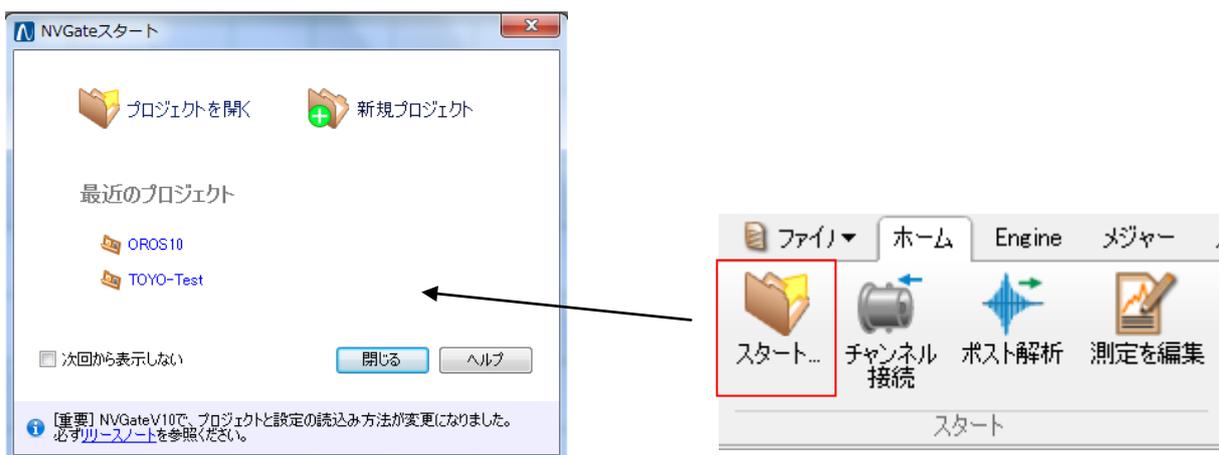
データセットの作成

データセットの管理に関する操作は NVGate 内で行うことができます。これらの機能については今までのデータ選択ダイアログに盛り込まれています。

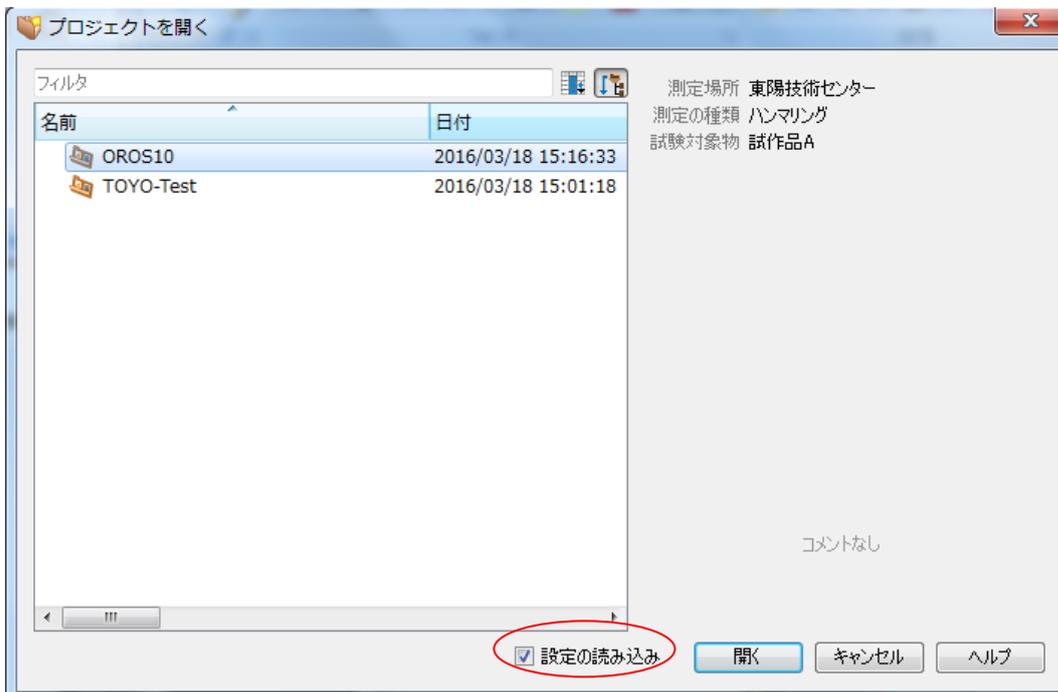
NVGate Ver. 10 でプロジェクトやメジャーの所有権が抑制されていることに注意してください。データをコピーや削除から保護するには、プロジェクトマネージャーからフィルタリングやアーカイブを利用してください。

プロジェクト

NVGate を起動すると、プロジェクト選択や作成のダイアログが表示されます。ここではコンテキストの再読み込みや指定ができます。スタートダイアログは、リボンメニューの”ホーム/スタート/スタート”からアクセスすることもできます。

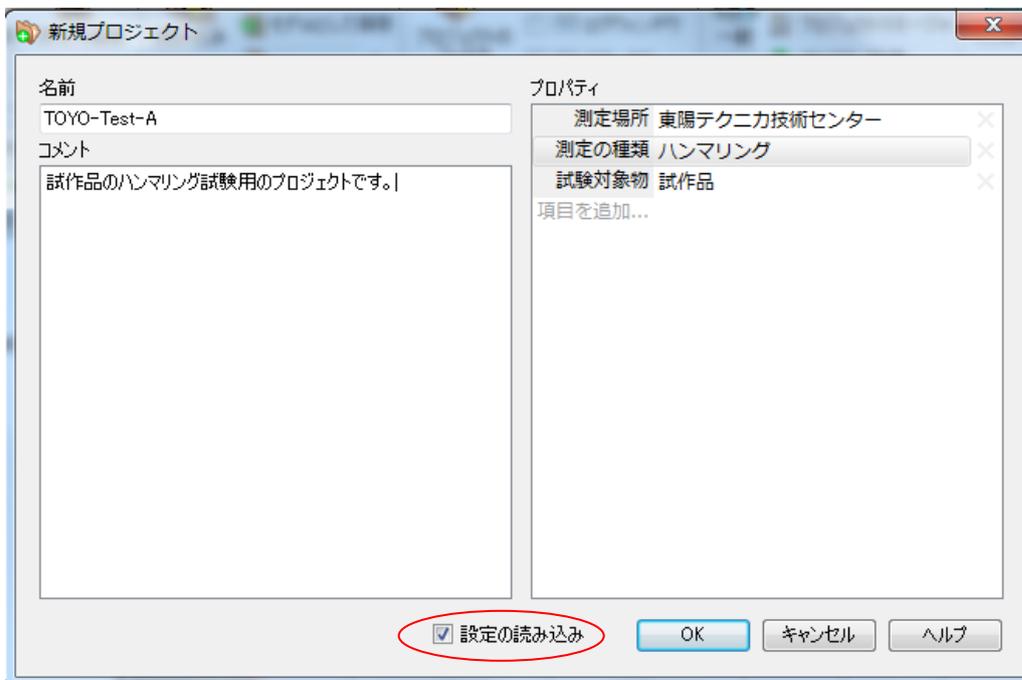


「プロジェクトを開く」を選択すると、項目選択と同じような「プロジェクトを開く」ダイアログが表示されます。



プロジェクトを選択して「開く」ボタンを押してください。

「新規プロジェクト」を選択すると、下図のダイアログが表示されます。



プロジェクトを分類するために必要なプロパティやコメントを入力して、OK ボタンを押してください。

設定の読み込み

上記のプロジェクトを開く方法では、測定の設定が読み込まれません。簡単な手順で測定や分析のセットアップを読み込むことができます。

方法 1

「プロジェクトを開く」ダイアログの「設定の読み込み」にチェックを入れます。既存のプロジェクトから設定を選択できます。

方法 2

「ホーム > セットアップ > 読み込み」ボタンを押します。「設定の読み込み」のダイアログが開きます。ここから、モデル、メジャー、プロジェクトから設定を選択できます。また、オンラインの設定やポスト解析の設定を作成することもできます。

メジャーやモデルから設定を選択する場合はダイアログ右下の詳細の欄に保存される結果を表示します。

方法 3

モデルを読み込む：モデルに機能が追加されました。

- モデルのプロパティはメジャーを継承します。
- 読み込まれたモデルの名前がリボンの「ホーム/セットアップ」の  に表示されます。このモデルは、別のモデルが読み込まれるか、リセットされるまで保持されます。
- 読み込まれたモデルは使用中の状態に合わせて変更できます。変更した設定はメジャーに保存されますが、もともとのモデルは変更されません。このため前もって作成された設定をオペレータなどに提供した際に、提供した設定はオペレータのミスなどで変更されず、設定を再現することが可能になります。
- メジャーが NVGate から共有されるか NVGate にインポートされた場合、関連するモデルがメジャーと一緒に移動されます。
- 「ホーム/セットアップ/モデルとして保存」  ボタンから修正したモデルを保存することができます。保存のダイアログ内からモデルプロパティの入力が可能です。ここでモデルのプロパティを更新することができます。

方法 4

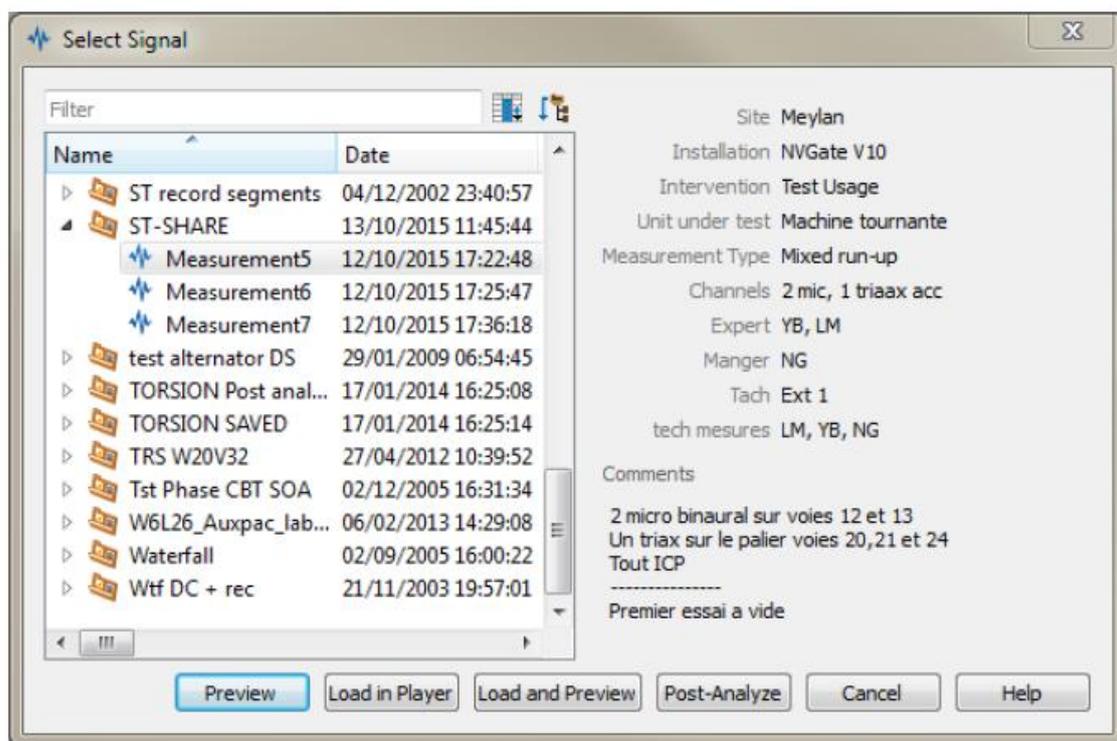
メジャーの設定を読み込む。選択されたメジャーを測定したときの設定が読み込まれます。

この方法は試作品の調整時などに過去のメジャーの設定を再現する必要があるときに利用できます。OROS は繰返しの測定は同じプロジェクトに保存することを推奨しています。

方法 5

最初から設定を作成する。この機能は、オンラインまたはポスト解析を選択して行います。どちらも現在の設定をリセットし、新規プロジェクトを立ち上げます。

- オンラインを選択すると、チャンネル接続のダイアログが表示されます。
- ポスト解析を選択すると、解析に使用する信号を選択するためのダイアログが表示されます。ダイアログの右側にはモデル選択時と同じように、メジャーのプロパティが表示されます。この情報により信号を素早く見つけることができます。



メジャーの作成

プロジェクトを開き設定を読み込むと、測定データ保存されたときにメジャーが作成されます。

このとき、プロパティとコメントが表示されます。いくつかはサジェスションにより入力された状態で現れますが、サジェスションなしのメジャーのプロパティとコメントはユーザーが入力してください。

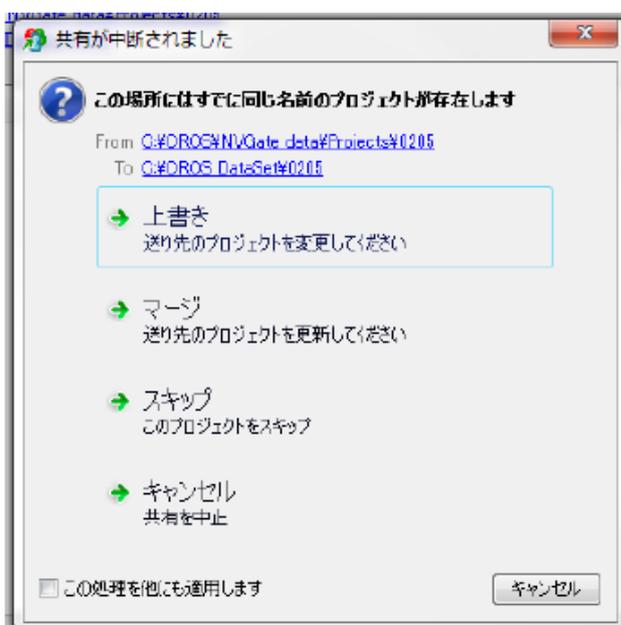
プロセスは別のメジャーを継続することができます。

- モデル/メジャーから読み込まれた同じタイプまたは違ったタイプ
- 同じ NVGate または、共有されたプロジェクトとモデルのある別のもの

データセットの移動

この機能は、プロジェクト/メジャー/モデル、およびそれらに関連付くものを NVGate Data と共通のディレクトリ間で移動します。

この移動は両方向に動作します： NVGate のある PC から共通の場所へ共有します。共通の場所から PC へデータをインポートします。送信元/送信先のフォルダは PC の内部や LAN や外付けのデバイスなどが指定できます。



移動の際に生じる多くの不整合やエラーは自動的に処理されます。

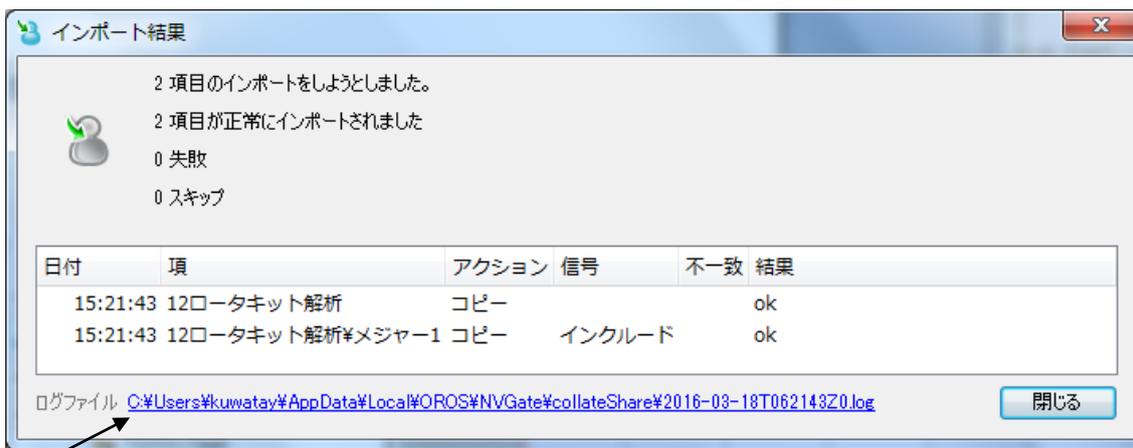
あいまいな不整合で微妙な操作を必要とする場合は図のように指示を求めるダイアログが表示されます。

加えて、移動元/移動先のディレクトリがハイパーリンクでアクセスできる場合は、リンクを表示します

データのトレーサビリティ（追跡）

共有/インポートの移動は2つの方法でレポートされます。

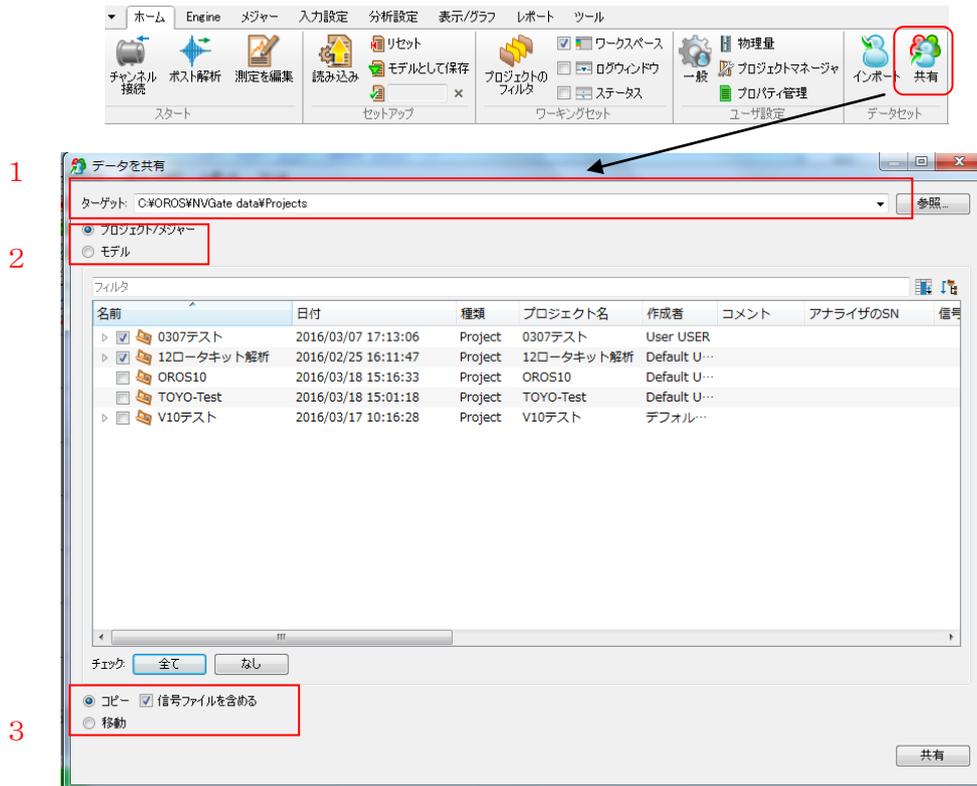
- 最初に移動の結果が下図のように表示されます



- ログファイルが NVGate のある PC に保存されます。ログファイルは TSV 形式ですので、Excel などに簡単に読み込めます。

データセットの共有

データセットはリボンの「ホーム/データセット」から共有ができます。



データ共有ダイアログには、下のような設定項目があります。

1. 送付先のディレクトリのパス：

共有されたアイテムの内プロジェクト/メジャーに対しては、このディレクトリのルートに置かれます。モデルは Folder という名前のサブフォルダに置かれます。使用した送付先は記憶され右にあるダウンメニューから利用が可能です。

2. 共有するものの選択

a. プロジェクト/メジャー： プロジェクトとメジャーを移動します。選択されたメジャーに関連するモデルも同様に移動します。メジャーとその設定を共有するために使用します。

b. モデル： 選択したモデルだけが移動します。オペレータにモデルを配布する場合などに使用します。

3. 移動の方法

a. コピー： データを NVGate data に残したまま移動します。

b. 移動：最初にデータセットをコピーし、その後 NVGate data から削除します。

c. 信号を含む：チェック時に信号ファイルを含めて移動します。チェックが外れている場合は、信号ファイルは NVGate data に残ります。

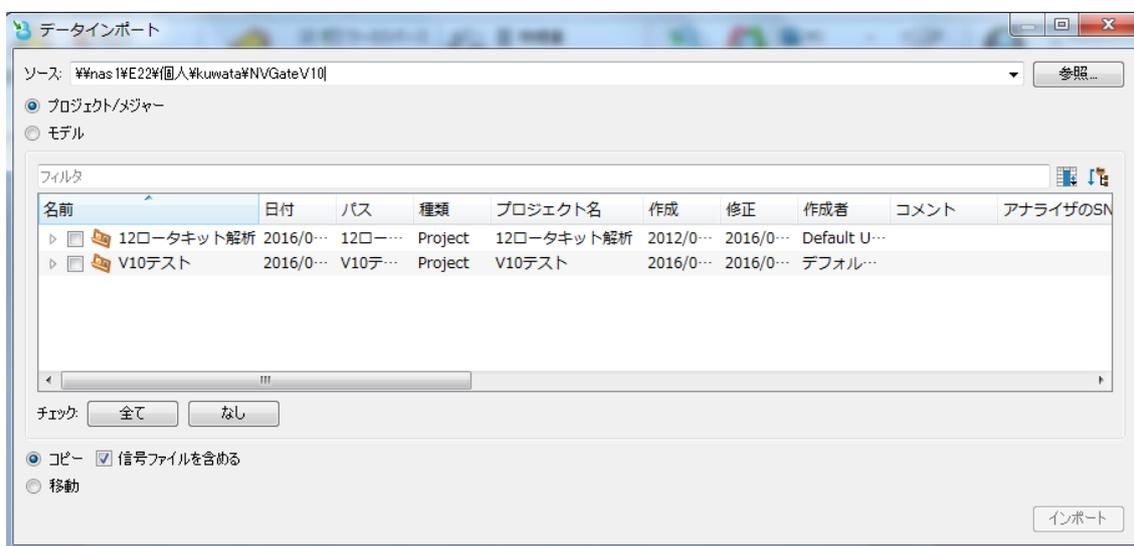
注意：データの削除を避けるために「移動」をする場合は、「信号を含む」にチェックを入れてください。

注意：「共有」は、データセットを PC 内や外付けの HDD にバックアップする場合にも使用できます。

データのインポート

「インポート」は、データセットを共通のディレクトリから NVGate のローカルへ選択し集めることができます。

インポート機能はリボンの「ホーム/データセット」から利用できます。



「インポート」のダイアログは「共有」のものによく似ています。

大きな違いは、検索がディレクトリの階層で制限されないことです。インポートの機能はディレクトリの階層ですべてのサブディレクトリを検索します。

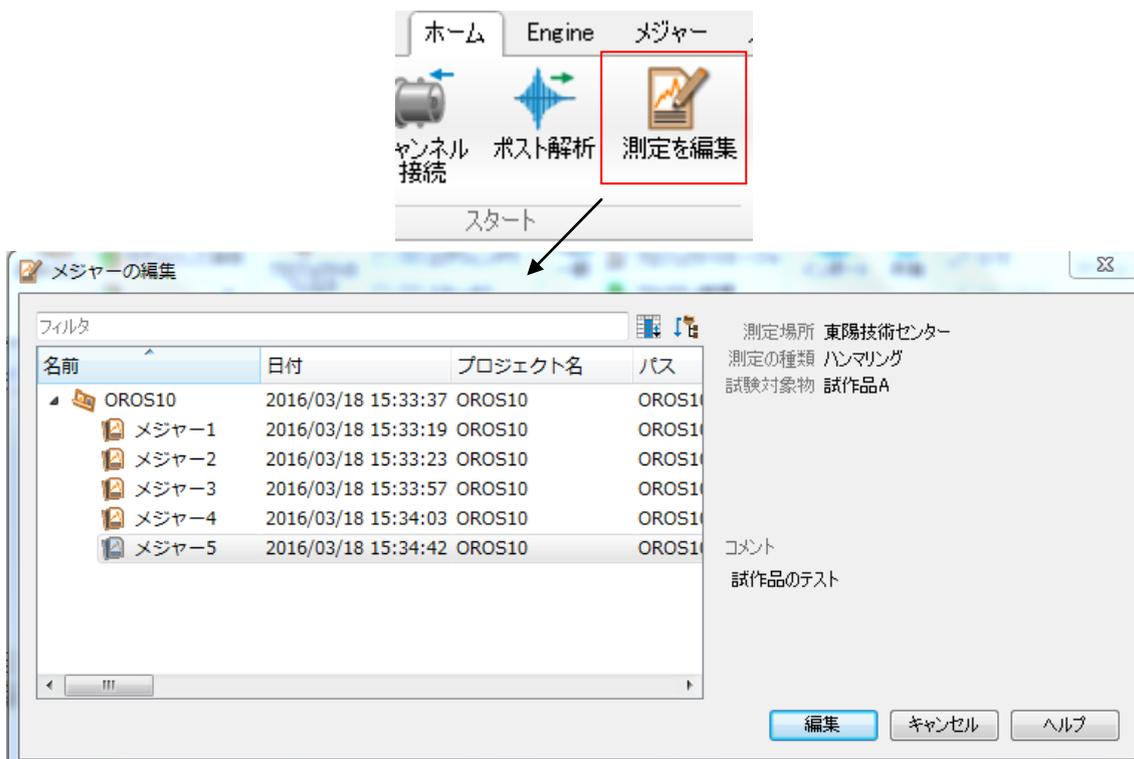
このため、ディレクトリの構成が分からなくてもプロパティによる検索が可能になります。

エクスプローラ管理

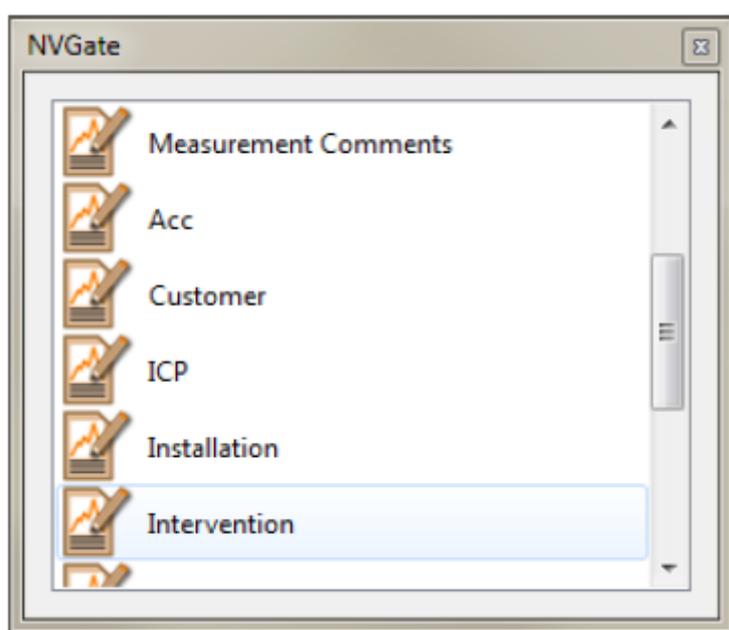
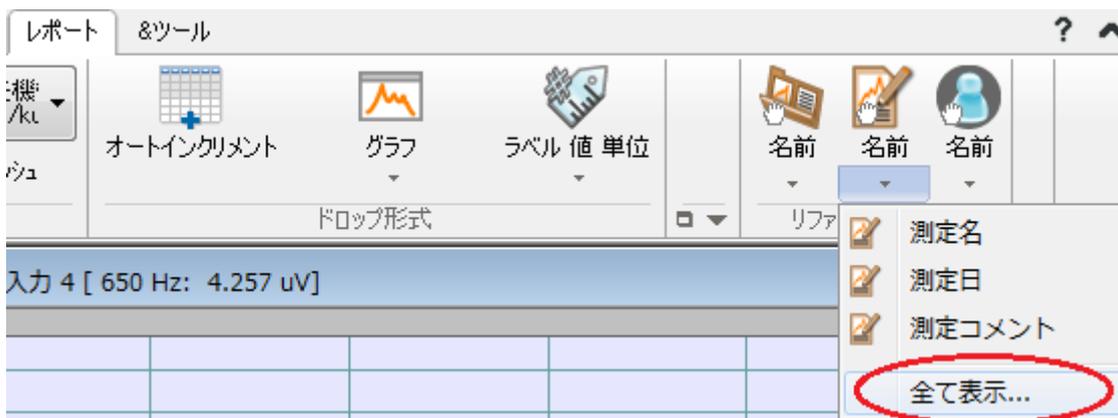
NVGate の各メジャー内の結果は重要な情報を含んでいます。

- プロパティ、コメント、添付ファイルなどが付加されています
- フロントエンドや解析の設定を保持したワークブックによる設定の再現
- レイアウト（ウィンドウ、スケール、カーソル、演算など）を使用した再描写

「メジャーの編集」機能によって、比較や修正やレポートのためにメジャーの内容を見直すことができます。編集されたメジャーは現在のレイヤーの前面に置かれます。メジャーの編集はリボンの「ホーム/スタート/メジャーの編集」から行えます。



メジャーが編集されているときは、メジャーの更新とレポートの作成が行えます。また、メジャーのプロパティがリボンの「レポート/リファレンス/名前」からレポートで使用できます



メジャーのプロパティリストを表示するために「全てを表示」をクリックしてください。
 必要な項目を選択し、ワードやエクセルのレポートに貼り付けてください。
 この機能はバッチレポートを使用する際に有効です。

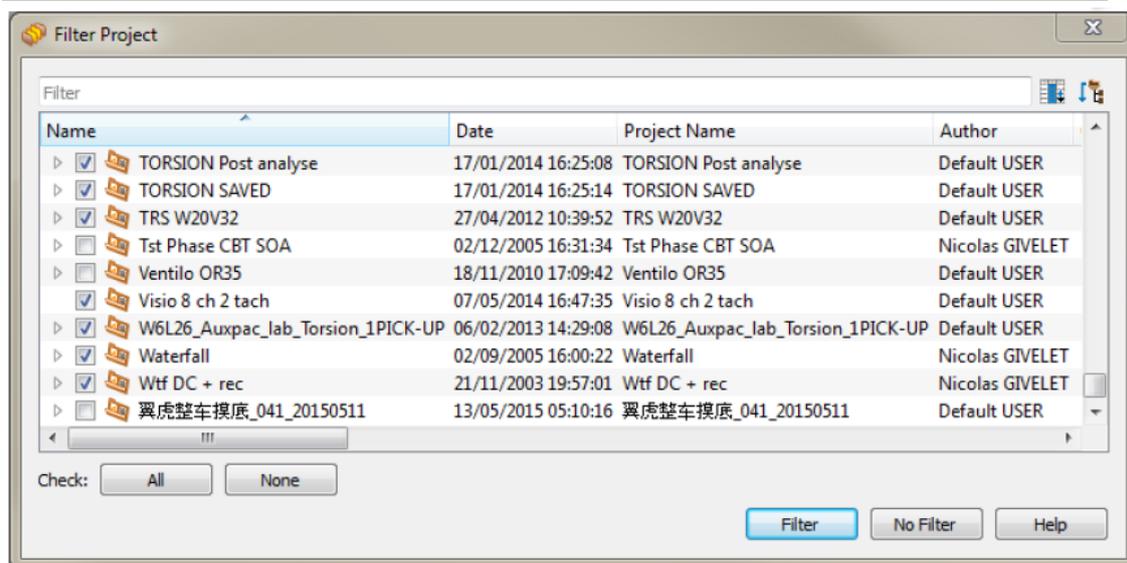
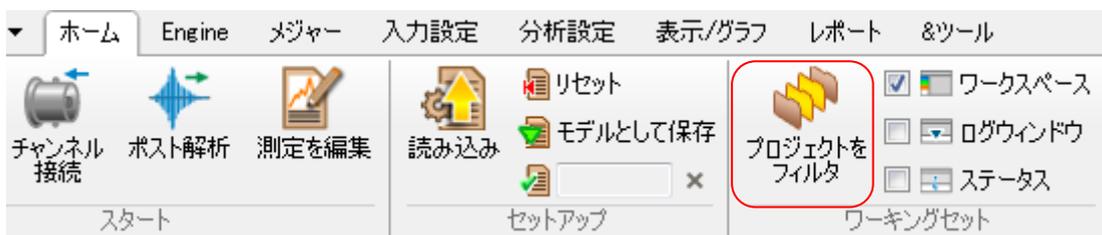
フィルタの使用

共有/インポートを使用することによって効率的にデータを管理することができますが、目に入るにデータの数減らすことは非常に便利です。ここでは、フィルタ機能について説明します

プロジェクトのフィルタ

フィルタ機能から表示する作業データを選択できます。フィルタ機能は、リボンから使

用することができます。



「プロジェクトをフィルタ」ボタンは、フィルタが有効なときは青の背景になり、フィルタが有効でない時は通常の背景になります。

フィルタや列のソートを使い表示すべきプロジェクトにチェックを入れてください。

「フィルタ」ボタンをクリックすると選択された項目のみが表示されます。「フィルタなし」をクリックするとフィルタを解除してすべての項目を表示します。

この表示フィルタはプロジェクトマネージャーなどに適応されます。

その他の改善点

アナライザのカスケード接続

NVGate Ver9 から導入されたアナライザのカスケード接続で、解析できるモジュールが追加されました。

Ver. 9.10 でのカスケードモードは以下の解析が可能でした。

- フロントエンド全般
 - 入力
 - 外部タコ
 - DC 入力
 - XPod
 - 出力
 - CAN
 - ICP、TEDS
- レコーダー（最大 256 チャンネル）
- FFT モジュール 1 - 4(最大 256 チャンネル)
 - FFTDiag
 - 分散したクロスファンクション
- イベント/トリガー
- フィルタ
- タイムウィンドウ

Ver. 10 では以下の機能がカスケードモードに追加されました。

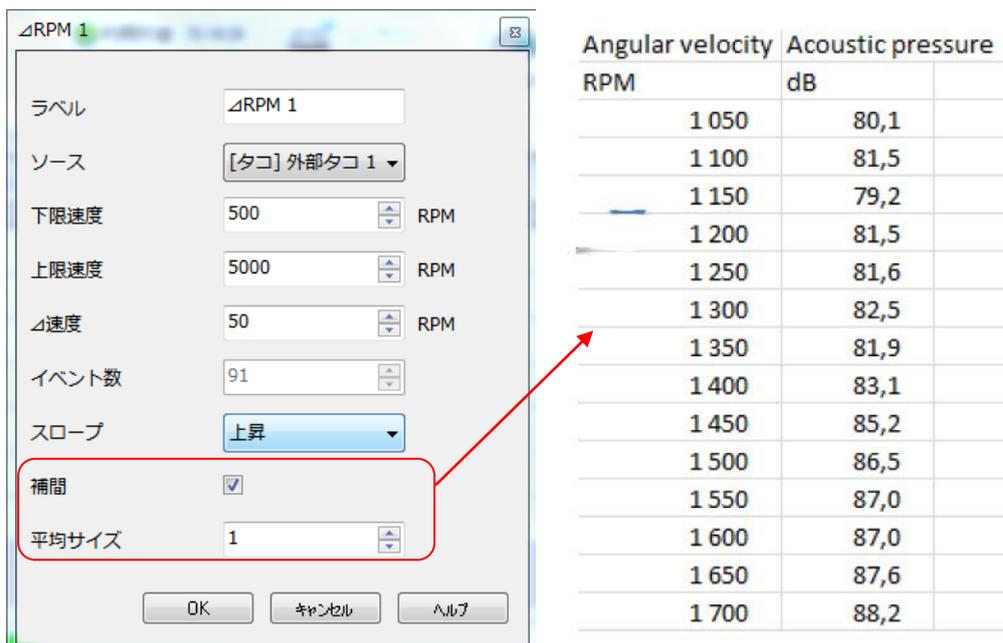
- ウォーターフォール 最大 96CH : 大規模なマシンのための分散構成と多数のチャンネルをもつトラッキングができます。
- ウォーターフォールとプラグインのタコメータ
 - 3D スペクトルからの次数抽出
 - FFT による定幅トラッキング
- 1/N オクターブ分析（最大 256 チャンネル）
- 騒音計モジュール

トラッキング スケジュール

トラッキングが確度とナビゲーションの面で改善されました。

正確なデルタ RPM

回転数が上昇/下降する試験の比較には、同じ RPM の値で測定されたデータが必要になります。新しく追加された RPM の平均設定は再現性の高いデルタ RPM イベントを得ることができます。



Angular velocity RPM	Acoustic pressure dB
1 050	80,1
1 100	81,5
1 150	79,2
1 200	81,5
1 250	81,6
1 300	82,5
1 350	81,9
1 400	83,1
1 450	85,2
1 500	86,5
1 550	87,0
1 600	87,0
1 650	87,6
1 700	88,2

正確な RPM での測定点を得るには、デルタ RPM の設定でタコメータに適応されている平均をリセットする(平均サイズを1にする)必要があります。

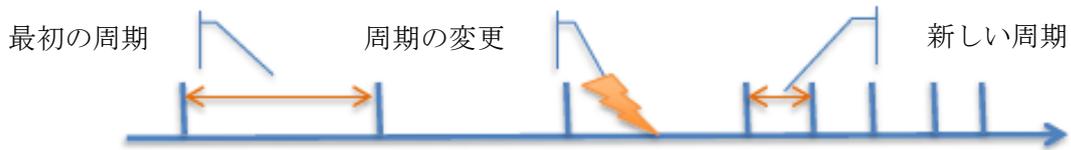
推奨：

よりデルタ PRM に近い値で結果を取得したい場合は、FFT や次数比分析のオーバーラップを最大まで設定することを推奨します。

デルタ時間の即時更新

長い期間の測定では(例えば、大型の発電機の起動試験など)、データの収集のレートを測定の状況に合わせて変更したいことがあります。例えば、重要な測定領域に近づいたら、ウォーターフォールやプロファイルの収集レートを増加させたりするなどです。

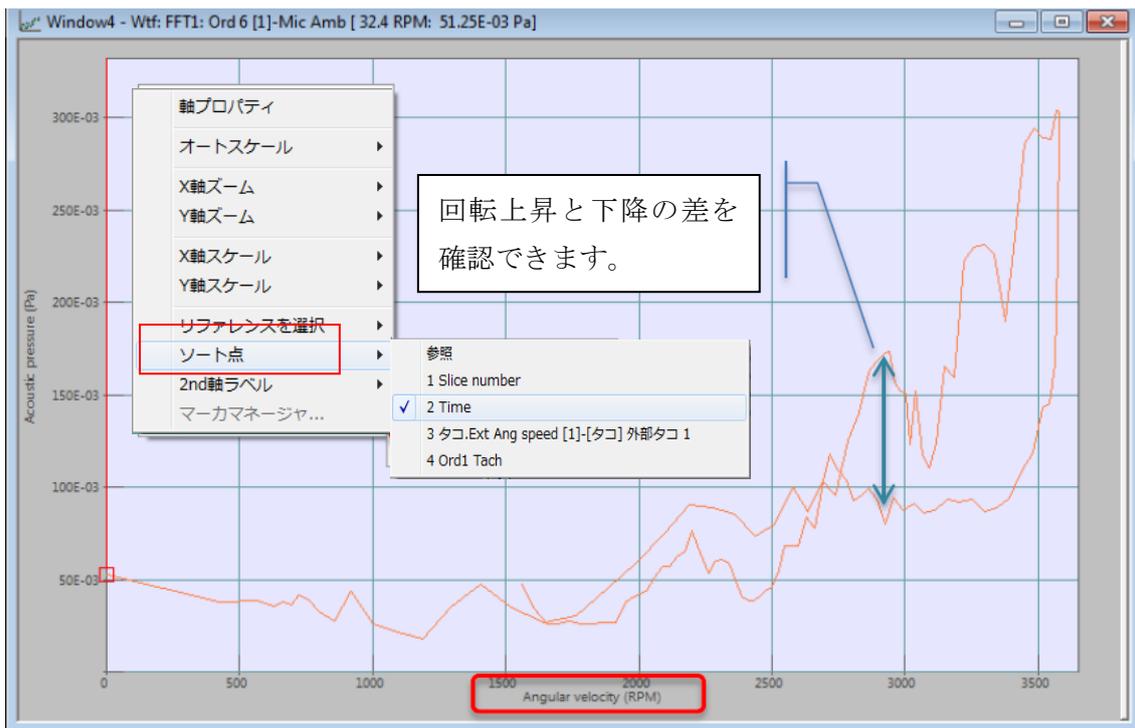
NVGate Ver. 10 では、測定中に収集レートを変更することが可能です。



2D/3D ウォーターフォールのソート

Ver10 ではランアップ/ダウンのプロファイルを表示することができます。ソート選択でデータの X 軸を選択できますが、データのソートは別のリファレンスによって行うことができます。

下の例では、X 軸にはタコメータのスピードで表示していますが、ソートは時間で行われています。



回転の上昇と下降のヒステリシスを見ることができます。

プロファイルでの第 2X 軸

RPM、トルク、温度などの上昇方向と下降方向が混在した測定では、時間やスライス番号などの発生順に結果を表示する方法が有効ですが、データは上昇/下降の情報も保持

しています。

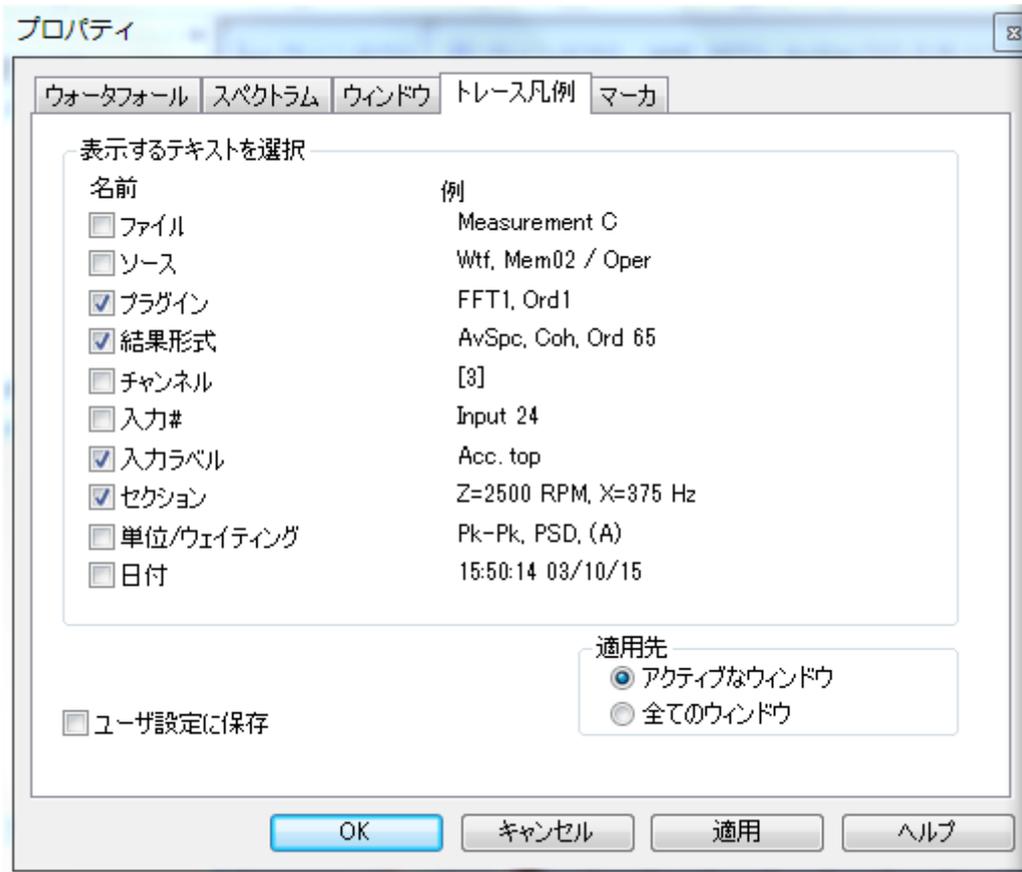


グラフと凡例

トレース凡例の編集

トレースによる識別は重要で、OROS は結果を明確に判別できるように最大限の情報が表示できるようにしています。

NVGate Ver. 10 では、トレースの情報エリアから表示する情報を選択できるようになりました。



表示

モード：振幅

トレース

✔▶ Wtf: FFT1: AvSpc [1]-入力 1 (10:19:34 03/18/16)

表示

モード：振幅

トレース

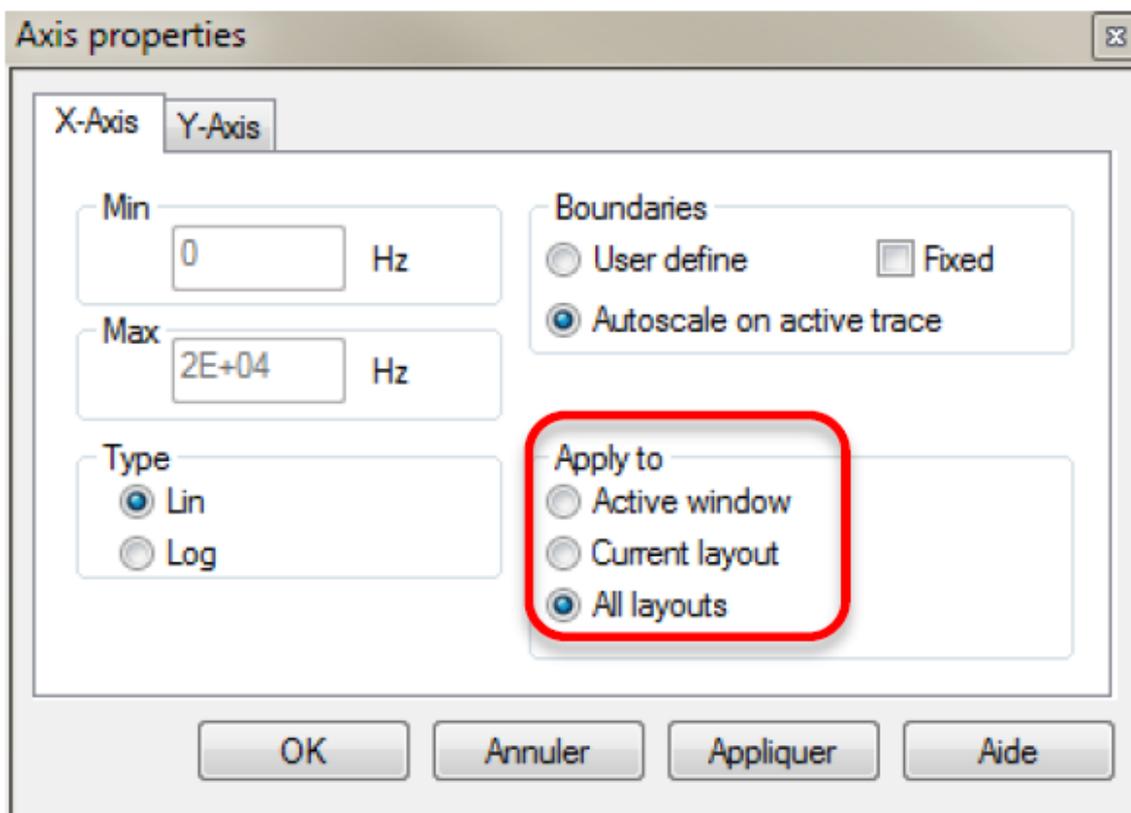
✔▶ FFT1: AvSpc 入力 1

トレースの凡例の設定は、グラフの外側を右クリックしてプロパティから行えます。今後新規で表示するウィンドウにトレースの凡例の設定を適用する場合は、ユーザ設定で保存をしてください。アクティブなウィンドウのみに適応する場合は適用先で選択してください。

全てのウィンドウのスケールを変更

グラフの軸の変更を NVGate 上のすべてグラフに適用できるようになりました。グラフエリアを右クリックして軸プロパティで、現在のレイアウトもしくは全てのレイ

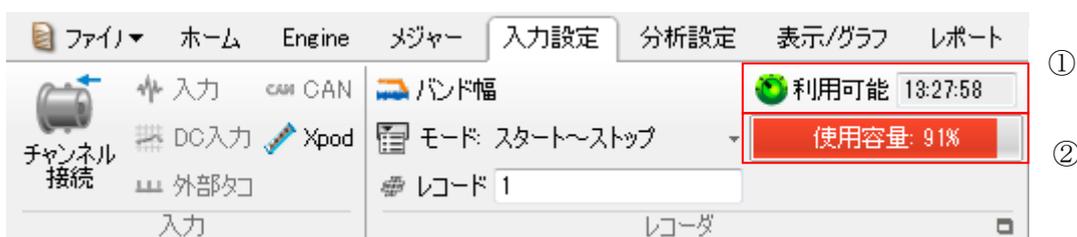
アウトに軸のスケールの変更を適用させることができます。



その他

リボンにディスク容量を表示

PC または、アナライザのハードドライブの容量をリボンの「入力設定/レコーダ」に表示します。

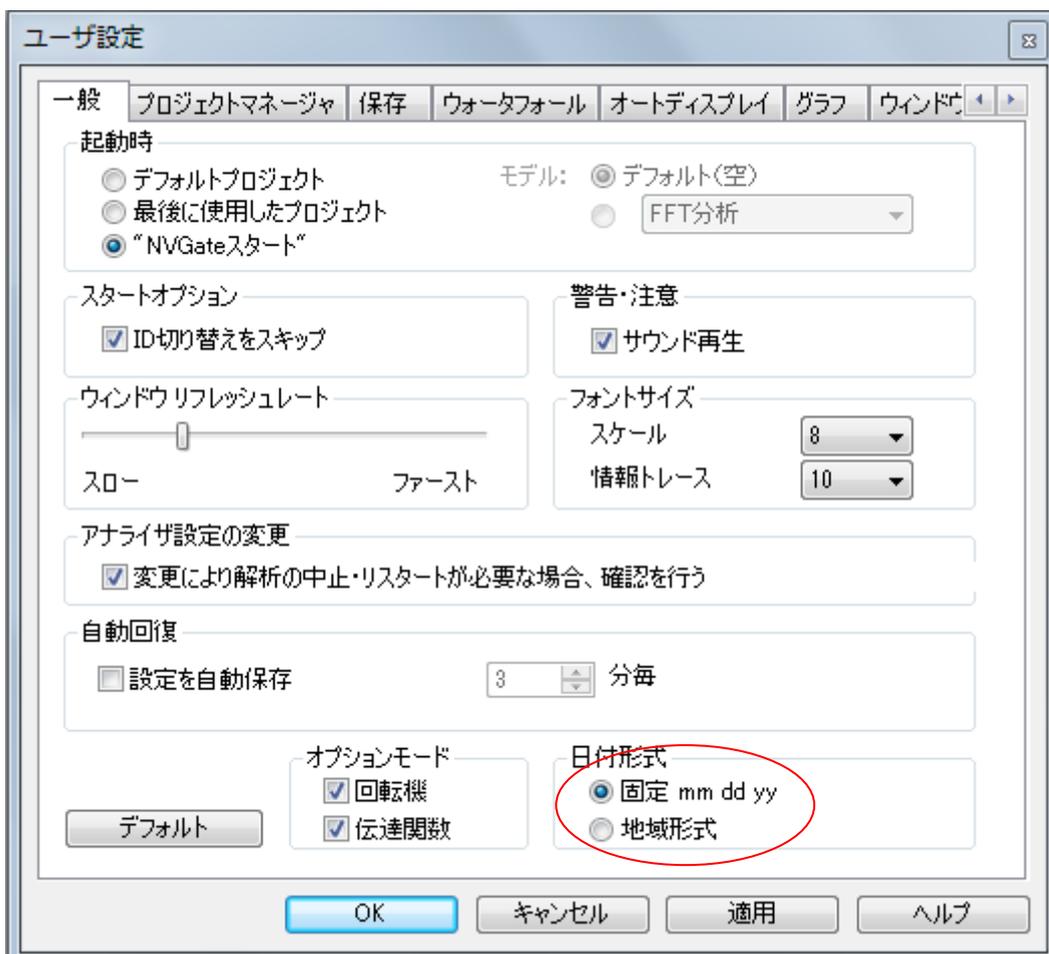


1. 現在のレコード設定で可能な収集時間を表示します。
2. ディスクの使用率をバーグラフで表示します。

結果の名前の日付形式

ユーザ設定から保存時の名前につけるサフィックスの日付形式を選択できます。
月/日/年を 2 桁で記述する方法とウィンドウズのシステムで設定に合わせる方法から

選ぶことができます。



新しいSQ 単位

サウンド・クオリティの物理量と単位が追加されました。

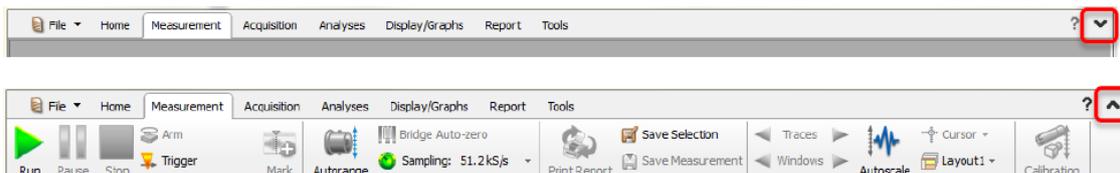
- ラウドネス [sone]
- ラウドネス レベル [phon]
- ラフネス [asper]
- シャープネス [acum]
- 周波数群 [bark]
- 変動強度 [vacil]

NVDrive: ビットマップのコピー リボンの最小化

NVDrive に 2 つのコマンドが追加されました。

- ビットマップのコピー: 選択されたウィンドウのビットマップをウィンドウズのクリップボードにコピーできます。
- リボンの最小化: グラフェリアを最大限広くするためにリボンメニューを最小化し

ます。

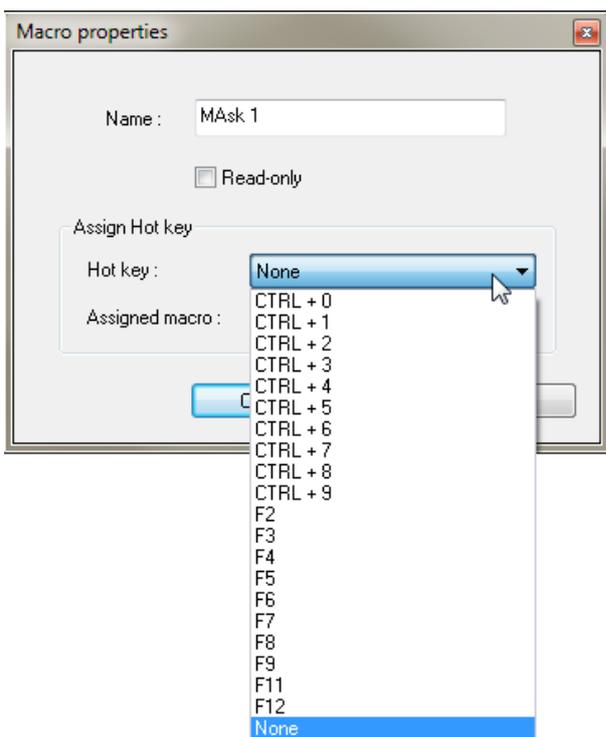


キーボードショートカット

ショートカットに重複しないキーを割り当てる (CTRL + X でないキー) ために、マクロのショートカットキーでファンクションキーが利用できるように拡張されました。

F2~F9、F11、F12 が新しくマクロに関連付けられました。

マクロを使用することで、NVGate の機能の多くをファンクションキーから行うことができます。



修正された問題

参照番号	説明
3809	ポスト解析でタコメータのパルス/回転の数が1になる。
4648	Matlab V 2014-2015 での MATDrive 互換性
6290	倍精度浮動小数点数で書かれた uff シグナルファイルのインポート
6933	日付フォーマットの自動インクリメント
7350	モビディスクからデータをダウンロードしている途中で、ダウンロードを停止できる。
7449	コピーペーストかレポートからデータを識別する
7994	NVGate と Office2013 間の互換性
8112	ポスト解析で、正しい”作成されたデータ”を取得する
8238	2D プロファイルのデータとウォーターフォールのセクションデータを重ね書きする
8261	TEDS センサのレンジが正しくない：オーバーロードが発生する
8273	レコーダーがあると。Result ファイル名の日付フォーマットが変わる
8342	スカラービューメータのアラームレベル
8368	NVDrive コマンドにウォーターフォール FFT、タコプロファイルの保存設定を追加
8388	SDF 形式で大容量の Signal ファイルのエクスポート
8466	複数のパルス/回転のためのポスト解析での RPM: プリディバイダは記録されない
8518	マルチアナライザのプロジェクトを読み込むための時間
8520	最大値マーカのテーブル(x 軸)のリフレッシュ
8565	スレーブ側のアナライザ上の出力ゲイン
8572	ハードウェアでオフィスモードを起動する
8642	任意の IP アドレスで Encrypt hardware key を行う
8689	ウォーターフォールに DC 入力を追加
8690	タブレット PC でペンを使って右クリックできる
8759	積分した加速度信号をズームできる
8774	20kHz 以上のグラフ上に 2kHz と 20 kHz のグラフを同時に表示する
8808	マルチアナライザモードの読み込み
8816	“測定結果の編集” 上にマスクが表示されない
8819	テキスト形式でのウォーターフォールの自動エクスポート
8832	信号ウィンドウを最小化したのに、ウィンドウが一時的に表示される
8839	プロジェクト保存前に自動保存が行われると、保存ができなくなる
8855	ポスト解析時、外部タコのラベルの使い方を改善

8870	OR36V1 でタコメータを使用中にオートレンジを行うとフリーズする
8885	“SI” 単位系を使わずに UFF をインポート/エクスポート
8932-9148	29bit メッセージを使用した CAN BUS との互換性
9262	1/12 オクターブ解析のウォーターフォールのカーソルの値が間違っている